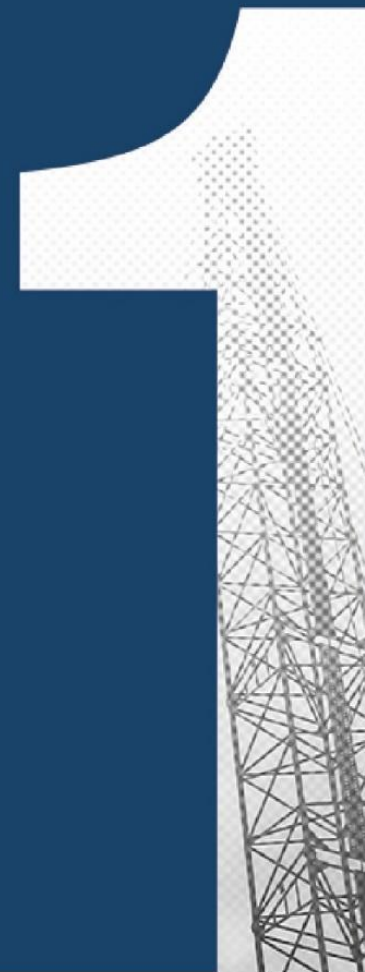


100年の沿革




関東地方整備局 港湾・空港関係組織 100年の沿革

年	社会情勢	関東地方整備局		設立
		組織	工事・関連事項	
1853 嘉永 ⁶	・ペリーが浦賀に来航			-68
1854 安政 ^元			・御台場完成	-67
1859 安政 ⁶	・横浜港開港			-62
1872 明治 ⁵	・新橋－横浜間に日本初の鉄道路線開業			-49
1890 明治 ²³			・第一海堡完成	-31
1892 明治 ²⁵		・内務省に臨時横浜築港局を設置		-29
1893 明治 ²⁶			・大栈橋建設着手（横浜港）	-28
1894 明治 ²⁷			・大栈橋完成（横浜港）	-27
1899 明治 ³²		・臨時税関工事部（大蔵省所属）を設置	・横浜港第一期海面埋立工事着手	-22
1905 明治 ³⁸		・臨時税関工事部→「臨時建築部横浜支部」に改称	・横浜港第一期海面埋立工事完成	-16
1908 明治 ⁴¹			・木更津町は航路浚渫と防波堤を築造し完成（木更津港）	-13
1909 明治 ⁴²	・伊藤博文がハルビン駅で暗殺			-12
1910 明治 ⁴³			・千葉県が都川河口を浚渫・埋立し、出州荷揚場及び船溜まり-3mを整備（千葉港）	-11
1912 大正 ^元	・タイタニック号沈没 ・明治天皇崩御			-9
1913 大正 ²		・臨時建築部横浜支部→「臨時建築部横浜出張所」に改称		-8
1914 大正 ³			・第二海堡完成	-7



年	社会情勢	関東地方整備局		設立
		組織	工事・関連事項	
1921 大正10		<ul style="list-style-type: none"> 内務省横浜土木出張所が設立 横浜港修築工場(のちに京浜港工事事務所)を開設 横浜機械工場(のちに横浜機械整備事務所)を開設 	<ul style="list-style-type: none"> 第三海堡完成 	0
1922 大正11			<ul style="list-style-type: none"> 造函船渠(ドライドック)建設着手(山ノ内ドライドック) 我が国最初のディップ船「竜神号」・バケット船「浮島丸」完成、横浜港の浚渫を開始(横浜機械) 	1
1923 大正12	<ul style="list-style-type: none"> 関東大震災発生 	<ul style="list-style-type: none"> 関東大震災復旧のため横浜港修築工場→「横浜港復旧第一、第二、第三工場」へ組織変更 		2
1924 大正13			<ul style="list-style-type: none"> 中ノ瀬航路浚渫開始 	3
1925 大正14		<ul style="list-style-type: none"> 横浜港復旧第一、第二、第三工場→「横浜港修築第一、第二工場」へ改称 	<ul style="list-style-type: none"> 安浦港完成(横須賀港) 新港埠頭が震災復旧竣功(横浜港) 	4
1926 昭和元	<ul style="list-style-type: none"> 大正天皇崩御 		<ul style="list-style-type: none"> 造函船渠完成(木製函台)、ケーソン製作開始(直営工事)(山ノ内ドライドック) 	5
1927 昭和2	<ul style="list-style-type: none"> 航空法施行 			6
1928 昭和3				7
1929 昭和4				8
1930 昭和5				9
1931 昭和6	<ul style="list-style-type: none"> わが国初の国営民間航空専用飛行場が開港 			10
1932 昭和7				11
1933 昭和8				12
1934 昭和9			<ul style="list-style-type: none"> 木更津海軍航空隊の飛行場が建設され、航路、泊地、防波堤、護岸が完成(木更津港) 	13
1935 昭和10				14
1936 昭和11		<ul style="list-style-type: none"> 横浜港修築第一、第二工場→「横浜港修築事務所」へ改称 		15
1937 昭和12	<ul style="list-style-type: none"> 日中戦争勃発 			16
1938 昭和13				17
1939 昭和14			<ul style="list-style-type: none"> 飛行場隣接地を買収して拡張(東京空港) 	18
1940 昭和15	<ul style="list-style-type: none"> 東京オリンピック中止 		<ul style="list-style-type: none"> 千葉地区は千葉市が、船橋地区は直轄工事として埋立工事に着手(千葉港) 	19

年	社会情勢	関東地方整備局		設立
		組織	工事・関連事項	
1941 昭和16	<ul style="list-style-type: none"> 東京調布飛行場竣工 東京港が国際貿易港として開港 開港港則の一部改正により横浜港が京浜港と称 第二次世界大戦開戦 			20
1942 昭和17				21
1943 昭和18		<ul style="list-style-type: none"> 通信省及び鉄道省を合わせて運輸通信省が発足し第二港湾建設部となる 横浜修築事務所→「横浜港工事事務所」へ改称 		22
1944 昭和19			<ul style="list-style-type: none"> 木更津港の港内防波堤、棧橋を築造、航路、泊地を浚渫（木更津港） 	23
1945 昭和20	<ul style="list-style-type: none"> 第二次世界大戦終戦 米軍が横浜港の大棧橋、新港ふ頭を接收 GHQによる東京飛行場接收 GHQの指令により運輸省航空局は廃止され、逓信院電波局港空保安部が発足 	<ul style="list-style-type: none"> 運輸通信省→「運輸省」へ改称、航空局は同省内局となる 	<ul style="list-style-type: none"> GHQが飛行場の大拡張工事に着手（東京空港） 	24
1946 昭和21	<ul style="list-style-type: none"> 米軍が水戸東飛行場を接收し対地射爆場に指定（常陸那珂港） 	<ul style="list-style-type: none"> 横浜機械工場が分離独立 逓信院が通信省となる 		25
1947 昭和22	<ul style="list-style-type: none"> 日本国憲法施行 			26
1948 昭和23	<ul style="list-style-type: none"> 港湾法施行により東京港・川崎港・横浜港を含み京浜港と称 			27
1949 昭和24	<ul style="list-style-type: none"> 日本国有鉄道発足、運輸省設置法制定、電気通信省設置、同省外局として航空保安庁開庁、航空保安庁羽田航空保安事務所設置 			28
1950 昭和25	<ul style="list-style-type: none"> 港湾法制定 キティ台風により横浜港で在港船に被害 航空保安庁が航空庁と改称（運輸省の外局） 			29
1951 昭和26	<ul style="list-style-type: none"> 国連軍最高司令官マッカーサー元帥解任 サンフランシスコ講和条約、日米安全保障条約 東京港が特定重要港湾に指定 川崎港が特定重要港湾に指定 横浜港が特定重要港湾に指定 横須賀港が重要港湾及び準特定重要港湾に指定 東京都が港湾管理者となる 川崎市が港湾管理者となる 横浜市が港湾管理者となる 			30

年	社会情勢	組織	関東地方整備局	工事・関連事項	設立
1952 昭和27	<ul style="list-style-type: none"> 十勝沖地震 平和条約発効、日本国の独立回復 GHQ から東京飛行場施設の大部分が日本国に返還、「東京国際空港」に改称 横須賀市が港湾管理者となる 	<ul style="list-style-type: none"> 第二港湾建設部→「第二港湾建設局」へ改称 名洗港工事事務所を開設（千葉港湾） 横浜港工事事務所→「京浜港工事事務所」へ改称 川崎工場開設（京浜港湾） 横須賀港工事事務所を開設 		<ul style="list-style-type: none"> 千鳥町地区 2 号岸壁着手（川崎港） 高島 3 号栈橋、出田町ふ頭着手（横浜港） 大型グラブ浚渫船「相模号」建造（横浜機械） 	31
1953 昭和28	<ul style="list-style-type: none"> NHK テレビ放送開始 奄美諸島復帰 千葉港及び船橋港の港湾区域が決まり、千葉県が港湾管理者となる 千葉港及び船橋港が地方港湾に指定 木更津港の港湾区域が決まり、千葉県が港湾管理者となる 木更津港が地方港湾に指定 			<ul style="list-style-type: none"> 山下ふ頭建設工事着手（横浜港） 大型グラブ浚渫船「武蔵号」建造（横浜機械） 	32
1954 昭和29				<ul style="list-style-type: none"> 高島 3 号栈橋、出田町ふ頭完成（横浜港） 	33
1955 昭和30				<ul style="list-style-type: none"> 千鳥町地区 2 号岸壁完成（川崎港） 長浦地区岸壁栈橋式(-9m)着手（横須賀港） 	34
1956 昭和31	<ul style="list-style-type: none"> 横浜市が政令指定都市となる（横浜港） 東京国際空港が第 1 種空港に指定 			<ul style="list-style-type: none"> 千鳥町地区 3 号岸壁着手（川崎港） 	35
1957 昭和32	<ul style="list-style-type: none"> 第五福竜丸ビキニ水爆被災事件 千葉港が重要港湾に指定 			<ul style="list-style-type: none"> 長浦地区岸壁栈橋式(-9m)完成（横須賀港） 東京電力久里浜火力発電所委託工事着手（横須賀港） 	36
1958 昭和33	<ul style="list-style-type: none"> 横浜開港 100 年式典 			<ul style="list-style-type: none"> 千鳥町地区 3 号岸壁完成（川崎港） 	37
1959 昭和34	<ul style="list-style-type: none"> 皇太子殿下（明仁親王）ご成婚 伊勢湾台風 	<ul style="list-style-type: none"> 横浜調査設計事務所を開設 		<ul style="list-style-type: none"> 第三海堡撤去予備調査開始 	38
1960 昭和35	<ul style="list-style-type: none"> チリ地震による津波 久里浜港～浜金谷港航路開設（東京湾フェリー） 	<ul style="list-style-type: none"> 横浜機械工場→「横浜機械整備事務所」へ改称 		<ul style="list-style-type: none"> 東京電力久里浜火力発電所受託工事完成（横須賀港） 	39
1961 昭和36				<ul style="list-style-type: none"> 東扇島防波堤工事着手（川崎港） 第三海堡撤去調査（東京湾口） 	40
1962 昭和37	<ul style="list-style-type: none"> 京浜運河タンカー衝突事故 	<ul style="list-style-type: none"> 京浜港湾事務所 新庁舎（西区高島町）竣工 		<ul style="list-style-type: none"> 千鳥町地区 4 号岸壁完成（川崎港） 自航起重機船「本牧丸」建造（横浜機械） サンドドレーン船「蒼龍」建造（横浜機械） 東京湾内漁業補償妥結 	41

年	社会情勢	関東地方整備局		設立
		組織	工事・関連事項	
1963 昭和38	<ul style="list-style-type: none"> 鹿島港が重要港湾に指定 	<ul style="list-style-type: none"> 鹿島港工事事務所を開設 	<ul style="list-style-type: none"> 鹿島港起工（鹿島港） 北防波堤、船溜南防波堤着手（鹿島港） 川崎航路開設、千鳥町地区 6 号岸壁完成（川崎港） 山下ふ頭完成（横浜港） 本牧ふ頭建設工事着手（横浜港） 	42
1964 昭和39	<ul style="list-style-type: none"> 東京オリンピック開催 国鉄新幹線開通 		<ul style="list-style-type: none"> 南防波堤、東防波堤着手（鹿島港） 千鳥町地区 7 号岸壁着手（川崎港） 長浦地区岸壁(-10m)着手（横須賀港） 本牧ふ頭建設に係る漁業補償妥結（横浜港） 旧C滑走路供用開始（東京空港） 	43
1965 昭和40	<ul style="list-style-type: none"> ケネディ米大統領就任 千葉港が特定重要港湾に指定 横須賀港開港 100 周年 	<ul style="list-style-type: none"> 東京空港工事事務所を開設 	<ul style="list-style-type: none"> 中央航路の掘込み開始（鹿島港） ドライドック建設着手（鹿島港） 船溜浚渫（鹿島港） 千鳥町地区 7 号岸壁完成（川崎港） 久里浜ふ頭完成（横須賀港） バケット式浚渫船「野毛丸」建造（横浜機械） 	44
1966 昭和41	<ul style="list-style-type: none"> 新東京国際空港(成田)公団発足 全日空機羽田沖墜落事故 	<ul style="list-style-type: none"> <u>名洗港工事事務所を廃止→「千葉港工事事務所」を開設（庁舎竣工 1968 年）</u> 	<ul style="list-style-type: none"> 長浦地区岸壁(-10m)完成（横須賀港） 新港地区先端護岸着手（横須賀港） 監督調査船「黒潮」建造（横浜機械） 	45
1967 昭和42	<ul style="list-style-type: none"> 千葉港の港湾区域拡張に伴い、船橋港を千葉港に編入 		<ul style="list-style-type: none"> 砂地盤上での北防ケーソン製作（鹿島港） 千葉中央地区岸壁(-4.5m)、岸壁(-10m)、泊地、南防波堤着手（千葉港） 	46
1968 昭和43	<ul style="list-style-type: none"> 十勝沖・日向灘地震 木更津港が重要港湾に指定 横浜港にコンテナ船初入港 	<ul style="list-style-type: none"> 第二港湾建設局 新庁舎（西区高島町）完成 千葉港工事事務所 木更津分室を開設 	<ul style="list-style-type: none"> 中央航路開口部浚渫、神の池埋立開始（鹿島港） 外港航路浚渫開始、高松団地の鉄鋼専用ふ頭一部完成（鹿島港） 京葉シーバース完成（20 万 t 級タンカー 2 隻同時接岸可能）（千葉港） 地ならし船「金龍丸」建造（横浜機械） 	47
1969 昭和44	<ul style="list-style-type: none"> 三億円強奪事件 東名高速道路全通 鹿島港が税制上開港 袖ヶ浦町地先が千葉港港湾区域に指定 		<ul style="list-style-type: none"> 千葉航路の拡幅・増深着手（水深-12m 幅 250m を水深-18m 幅 350m へ）（千葉港） 千葉中央地区岸壁(-4.5m)完成（千葉港） 大黒ふ頭地区防波堤着手（横浜港） 新港地区岸壁、岸壁取付工事着手（横須賀港） 	48

年	社会情勢	関東地方整備局		設立
		組織	工事・関連事項	
1970 昭和45			<ul style="list-style-type: none"> ・プラットフォーム船「大黒」建造（横浜機械） ・北航路陸削、南航路進入路陸削開始（鹿島港） ・本牧ふ頭完成（横浜港） ・東京港トンネル工事着手（東京港） 	49
1971 昭和46			<ul style="list-style-type: none"> ・ベルトコンベヤーによる土砂運搬開始（鹿島港） ・大黒ふ頭工事着手（横浜港） ・京浜港中央地区漁業補償妥結（横浜港） 	50
1972 昭和47	<ul style="list-style-type: none"> ・札幌冬季オリンピック開催 ・沖縄返還 ・沖縄総合事務局設置 ・田中首相中国訪問、日中国交正常化 ・グアム島で元軍人横井庄一発見 ・川崎市が政令指定都市となる（川崎港） 		<ul style="list-style-type: none"> ・中央航路消波護岸着手（鹿島港） 	51
1973 昭和48	<ul style="list-style-type: none"> ・オイルショック ・水戸対地射爆場を日本政府に返還（常陸那珂港） 		<ul style="list-style-type: none"> ・神の池緑地供用開始（鹿島港） ・南公共岸壁着手（鹿島港） ・千葉中央地区岸壁(-10m)・泊地5バース完成（千葉港） ・船橋西部地区岸壁(-10m)・泊地着手（千葉港） ・千葉航路の拡幅・増深完成（千葉港） ・西防波堤工事着手（横須賀港） ・全自動化測量船「みさき」建造（横浜機械） 	52
1974 昭和49	<ul style="list-style-type: none"> ・ルバング島で元軍人小野田寛郎発見 ・中ノ瀬航路出口付近LPGタンカー「第10雄洋丸」と貨物船「バンフィック・アリス」衝突炎上事故 		<ul style="list-style-type: none"> ・木更津地区防波堤完成（木更津港） ・木更津地区航路完成（木更津港） ・大黒大橋完成（横浜港） ・新港ふ頭完成（横須賀港） ・油回収船「蒼海」建造（横浜機械） 	53
1975 昭和50	<ul style="list-style-type: none"> ・沖縄海洋博覧会開催 	<ul style="list-style-type: none"> ・千葉港工事事務所 木更津分室を閉所 ・横浜調査設計事務所 水理模型実験場が完成 	<ul style="list-style-type: none"> ・南防波堤3,090m完成（鹿島港） ・南公共ふ頭岸壁(-10m)2バース供用開始（鹿島港） ・大黒ふ頭地区防波堤完成（横浜港） 	54
1976 昭和51	<ul style="list-style-type: none"> ・ロッキード事件 		<ul style="list-style-type: none"> ・南防波堤の改良着手（鹿島港） ・清掃船「清海」建造（横浜機械） ・東京港トンネル開通（東京港） 	55
1977 昭和52	<ul style="list-style-type: none"> ・浦賀水道南航中の貨物船第三海堡に座礁 ・王貞治756号ホームラン国民栄誉賞第1号 ・市川市(中部)地先が千葉港港湾区域に指定 		<ul style="list-style-type: none"> ・日立港第5ふ頭岸壁(-10m)2バース着手（鹿島港） ・千葉中央地区岸壁(-12m)着手（千葉港） ・海底トンネル1号沈埋函沈設（川崎港） ・西防波堤完成（横須賀港） 	56
1978 昭和53	<ul style="list-style-type: none"> ・宮城県沖地震 ・中ノ瀬航路開発保全航路指定 ・新東京国際空港開港 		<ul style="list-style-type: none"> ・南公共ふ頭(-7.5m)1バース供用開始（鹿島港） ・船橋西部地区泊地(-12m)着手（千葉港） 	57
1979 昭和54	<ul style="list-style-type: none"> ・第二次オイルショック 		<ul style="list-style-type: none"> ・油回収船「第二蒼海」建造（横浜機械） 	58

年	社会情勢	関東地方整備局		
		組織	工事・関連事項	設立
1980 昭和55			<ul style="list-style-type: none"> 川崎港海底トンネル開通（川崎港） 大黒Ⅱ期工事着手（横浜港） 清掃船「第二清海」建造（横浜機械） 	59
1981 昭和56	<ul style="list-style-type: none"> 神戸ポートピア開幕 		<ul style="list-style-type: none"> 南防波堤 1,210m延長工事着手（鹿島港） 船橋西部地区泊地(-10m)、泊地(-12m)完成（千葉港） 	60
1982 昭和57	<ul style="list-style-type: none"> 東北上越新幹線開通 500円硬貨発行 ホテルニュージャパン火災 日航350便羽田沖墜落事故 茨城県が港湾管理者となる 			61
1983 昭和58	<ul style="list-style-type: none"> 東京ディズニーランド開園 日本海中部地震 常陸那珂港が地方港湾に指定、引き続き重要港湾に昇格 みなとみらい起工式 		<ul style="list-style-type: none"> 千葉中央地区岸壁(-12m)3バース、船橋西部地区岸壁(-10m)5バース完成（千葉港） 	62
1984 昭和59	<ul style="list-style-type: none"> グリコ森永事件 		<ul style="list-style-type: none"> 常陸那珂港に係わる各種海域の現地調査開始（常陸那珂港） 東京国際空港沖合展開事業着手（東京空港） 安浦防波堤(1)工事着手（横須賀港） 	63
1985 昭和60	<ul style="list-style-type: none"> 日航ジャンボ機御巣鷹山墜落 	<ul style="list-style-type: none"> 京浜港工事事務所と横須賀港工事事務所が統合、横須賀工場を開設 	<ul style="list-style-type: none"> 南公共ふ頭岸壁(-10m)着手（鹿島港） 新港ふ頭岸壁(-4.5m)着手（横須賀港） 	64
1986 昭和61	<ul style="list-style-type: none"> 三原山大噴火 「東京港の将来像検討委員会報告」に於いて、東京港臨海道路の整備が提言 		<ul style="list-style-type: none"> 流通港湾用の国有地（ケーソンヤード 65千㎡）を取得（常陸那珂港） 船橋西部地区岸壁(-10m)改良着手（液状化対策）（千葉港） 直営ケーソン製作最終函進水（川崎港） 	65
1987 昭和62		<ul style="list-style-type: none"> 千葉港工事事務所 <u>木更津分室を開設</u> 	 <ul style="list-style-type: none"> 木更津南部地区岸壁(-12m)着手（木更津港） 東京湾岸道路（70m水路部分）着手（川崎港） 	66
1988 昭和63	<ul style="list-style-type: none"> 横須賀沖遊漁船「第一富士丸」と潜水艦「なだしお」衝突 		<ul style="list-style-type: none"> 南公共岸壁(-7.5m)着手（鹿島港） 千葉中央地区岸壁(-12m)改良着手（液状化対策）（千葉港） 東京国際空港新A滑走路供用開始（東京空港） 	67
1989 平成元	<ul style="list-style-type: none"> 昭和天皇崩御、新元号は「平成」 幕張メッセオープン 消費税3%導入 	<ul style="list-style-type: none"> ウォーターフロント開発相談室開設 	<ul style="list-style-type: none"> 常陸那珂港建設に伴う漁業補償、県と県漁連の間で合意（常陸那珂港） 常陸那珂港作業基地整備着手（常陸那珂港） 	68

年	社会情勢	関東地方整備局		
		組織	工事・関連事項	
	<ul style="list-style-type: none"> 横浜博覧会 横浜ベイブリッジ開通 		<ul style="list-style-type: none"> 南公共ふ頭岸壁(-10m) 1 バース供用開始(鹿島港) 南公共ふ頭岸壁(-7.5m)着手(鹿島港) 南本牧ふ頭防波護岸工事着手(横浜港) 東京湾横断道路着手(川崎港) 	設立
1990 平成2	<ul style="list-style-type: none"> 長崎雲仙普賢岳大火砕流発生 	<ul style="list-style-type: none"> 鹿島港工事事務所 常陸那珂工場を開設 	<ul style="list-style-type: none"> 作業基地北防波堤 360m完成(常陸那珂港) 南本牧ふ頭(第1バース)工事着手(横浜港) 	69
1991 平成3	<ul style="list-style-type: none"> 山形新幹線開通 	<ul style="list-style-type: none"> 第二港湾建設局 70 周年記念行事 	<ul style="list-style-type: none"> 南公共ふ頭岸壁(-7.5m) 2 バース供用開始(鹿島港) 中央防波堤着手(鹿島港) 東扇島地区岸壁(-14m) KC-1 着手(川崎港) 	70
1992 平成4	<ul style="list-style-type: none"> 国連平和維持活動(PKO)法成立 プロサッカー「Jリーグ」発足 釧路沖・北海道南西沖地震(奥尻島大災害) 千葉市政令指定都市となる(千葉港) 		<ul style="list-style-type: none"> 外港地区東防波堤着手(常陸那珂港) 東防波堤 8,000t ケーソンの製作(常陸那珂港) 作業基地 岸壁-5m(Ⅱ)完成、DCL 接岸栈橋・支持構造物完成、ケーソンヤード完成(常陸那珂港) 北防波堤延伸部 200m着手(鹿島港) 南公共ふ頭岸壁(-10m) 1 バース供用開始(鹿島港) 千葉中央地区岸壁(-12m) 2 号バース多目的クレーン基礎工事着手(千葉港) 	71
1993 平成5	<ul style="list-style-type: none"> 皇太子殿下(徳仁親王)ご成婚 レインボーブリッジ開通 	<ul style="list-style-type: none"> 第二港湾建設局及び横浜調査設計事務所が横浜第二合同庁舎へ移転 東京空港工事事務所 空港第2庁舎へ移転 	<ul style="list-style-type: none"> 外港地区岸壁(-14m)着手(鹿島港) 北ふ頭地区着手(常陸那珂港) 千葉中央地区岸壁(-12m)改良完成(千葉港) 東京国際空港西側旅客ターミナル供用開始(東京空港) 東京港臨海道路Ⅰ期事業工事着手(東京港) 	72
1994 平成6	<ul style="list-style-type: none"> 関西国際空港開港 鶴見つばさ橋開通 		<ul style="list-style-type: none"> 千葉中央地区岸壁(-12m)にコンテナターミナル供用(千葉港) 船橋西部地区岸壁(-10m)改良完成(千葉港) 木更津南部地区岸壁(-12m) 2 号バース着手(木更津港) 	73
1995 平成7	<ul style="list-style-type: none"> 国民の祝日「海の日」制定 阪神・淡路大震災 地下鉄サリン事件 	<ul style="list-style-type: none"> 千葉港工事事務所 木更津分室を閉所 京浜港工事事務所 山ノ内仮庁舎へ移転 	<ul style="list-style-type: none"> 千葉中央地区岸壁(-10m)改良着手(千葉港) 	74
1996 平成8			<ul style="list-style-type: none"> 木更津南部地区岸壁(-12m) 1 号バース完成(千葉港湾) 東防波堤延長 2,000m達成(ケーソン 67 函据付)(常陸那珂港) 東扇島地区岸壁(-14m) KC-1 完成(川崎港) 	75
1997 平成9	<ul style="list-style-type: none"> 東京湾アクアラインが開通し、木更津ー川崎間の東京湾フェリーが廃止 消費税 5%改正 	<ul style="list-style-type: none"> 各事務所名の改称 鹿島港工事事務所→「鹿島港湾工事事務所」 千葉港工事事務所→「千葉港湾工事事務所」 	<ul style="list-style-type: none"> 東防波堤延長 3,000m達成(常陸那珂港) 北防波堤着手(常陸那珂港) 	76

年	社会情勢	関東地方整備局		
		組織	工事・関連事項	設立
1998 平成10	<ul style="list-style-type: none"> 長野冬季オリンピック開催 島根県隠岐島沖にて「ナホトカ号」が沈没油流出事故 中ノ瀬西側海域にて「ダイヤモンドグレース号」が座礁原油流出 	京浜港工事事務所→「京浜港湾工事事務所」	<ul style="list-style-type: none"> 千葉中央地区岸壁(-10m)改良 1、2号バース完成(千葉港) 東京国際空港新C滑走路供用開始(東京空港) 東扇島地区岸壁(-12m)耐震強化岸壁完成(川崎港) 	77
			<ul style="list-style-type: none"> 北防波堤工事着手(常陸那珂港) 常陸那珂港内港バース一部供用開始(内貿第1船入港)(常陸那珂港) 東京港において、大井コンテナふ頭新4~6バースの耐震強化岸壁が直轄事業として採択(東京港) 本牧ふ頭地区岸壁(-15m)改良D-5着手(横浜港) 	
1999 平成11	<ul style="list-style-type: none"> 平成11年6月豪雨 福岡県、広島県で甚大な被害 		<ul style="list-style-type: none"> 中央ふ頭地区着手(常陸那珂港) 東扇島防波堤完成(川崎港) 本牧ふ頭地区岸壁(-15m)改良D-5完成(横浜港) 	78
2000 平成12	<ul style="list-style-type: none"> 三宅島大噴火 島民島外避難 	<ul style="list-style-type: none"> 事務所組織等の名称の工事課、工場を第○建設管理官室に改称 	<ul style="list-style-type: none"> 常陸那珂港外貿バース供用開始(常陸那珂港) 東防波堤延長4,000m達成(常陸那珂港) 千葉中央地区岸壁(-10m)改良3号バース完成(千葉港) 東京国際空港新B滑走路供用(東京空港) 大井コンテナふ頭新6バース供用開始(東京港) 大さん橋再編整備事業完成(横浜港) 南本牧ふ頭MC-1完成(横浜港) 本牧ふ頭地区岸壁(-15m)(耐震)改良BC着手(横浜港) 横浜港臨港道路(大黒・本牧)着手(横浜港) 馬堀海岸高潮対策護岸着手(横須賀港) 東京湾口航路漁業補償妥結(東京湾口) 浦賀水道航路(第三海堡撤去)着手(東京湾口) ケーソン等製作2,000函達成(京浜港) 	79
2001 平成13	<ul style="list-style-type: none"> 米同時多発テロ 牛海綿状脳症(狂牛病)感染 常陸那珂が港税制上の開港 	<ul style="list-style-type: none"> 国土交通省関東地方整備局へ省庁名改変 各事務所名の改称 鹿島港湾工事事務所→「鹿島港湾空港工事事務所」 横浜調査設計事務所・横浜機械整備事務所→「横浜港湾空港技術調査事務所」 東京湾口航路工事事務所を開設(横須賀市小川町) 	<ul style="list-style-type: none"> 千葉中央地区岸壁(-10m)改良4号バース完成(千葉港) 南本牧ふ頭MC-1,2供用開始(横浜港) 大井コンテナふ頭新4バース供用開始(東京港) 中ノ瀬航路浚渫開始 清掃兼油回収船「べいくりん」建造(京浜港) 	



年	社会情勢	関東地方整備局		設立
		組織	工事・関連事項	
2002 平成14	<ul style="list-style-type: none"> 小泉首相訪朝、金正日総書記と会談、拉致家族5名帰国 東北新幹線（盛岡～八戸間）開通 サッカーワールドカップ日韓共同開催 	<ul style="list-style-type: none"> 東京港湾工事事務所を開設（江東区青海） 東京湾口航路工事事務所 横須賀市平成町へ移転 千葉港湾環境マネージメントシステムを取得 	<ul style="list-style-type: none"> 北公共ふ頭第1バース供用開始（鹿島港） 千葉中央地区岸壁（-10m）改良 5号バース完成（千葉港） 袖ヶ浦海浜公園に風力発電施設完成（千葉港） 東京港臨海道路Ⅱ期事業が直轄事業として採択 東京港臨海道路Ⅰ期事業完成 臨海トンネル開通（東京港） 東扇島地区岸壁（-14m）KC-1（KC2側延伸部）完成（川崎港） 	
2003 平成15	<ul style="list-style-type: none"> 十勝沖地震 	<ul style="list-style-type: none"> 各事務所名の改称 鹿島港湾空港工事事務所→「鹿島港湾・空港整備事務所」 千葉港湾工事事務所→「千葉港湾事務所」 東京港湾工事事務所→「東京港湾事務所」 東京空港工事事務所→「東京空港整備事務所」 京浜港湾工事事務所→「京浜港湾事務所」 東京湾口航路工事事務所→「東京湾口航路事務所」 東京湾海洋環境整備事業を京浜港湾事務所より千葉港湾事務所へ移譲 	<ul style="list-style-type: none"> 東防波堤延長4,500m達成（常陸那珂港） 葛南中央地区岸壁（-12m）改良（耐震）着手（千葉港） 東京湾奥地区海域環境創造事業着手（千葉港） 大井コンテナふ頭新5バース供用開始（東京港） 本牧ふ頭地区岸壁（-15m）（耐震）改良BC完成（横浜港） 	82
2004 平成16	<ul style="list-style-type: none"> 新札発行（一万円・五千円・千円） 新潟県中越地震 	<ul style="list-style-type: none"> べいくりんセンター（千葉港湾事務所海洋環境課）を開設 	<ul style="list-style-type: none"> 北公共ふ頭第2バース供用開始（鹿島港） 東京国際空港東側旅客ターミナル供用（東京空港） 横浜港臨港道路（大黒・本牧）供用（横浜港） 	83
2005 平成17	<ul style="list-style-type: none"> 中部国際空港開港 愛知万国博覧会開催 JR西日本宝塚線脱線事故 	<ul style="list-style-type: none"> 鹿島港湾・空港整備事務所 百里飛行場事務所を開設 	<ul style="list-style-type: none"> 茨城空港（百里飛行場）着手（茨城空港） 葛南中央地区岸壁（-12m）改良着手（千葉港） 東京港臨海道路臨海大橋（東京ゲートブリッジ）着手（東京港） 本牧ふ頭地区岸壁（-13m）改良D-1着手（横浜港） 馬堀海岸高潮対策護岸完成（横須賀港） 	84
2006 平成18		<ul style="list-style-type: none"> 東京港湾事務所 江東区新木場へ移転 		85



年	社会情勢	関東地方整備局		設立
		組織	工事・関連事項	
2007 平成19		<ul style="list-style-type: none"> 京浜港湾事務所 西区 <u>みなとみらいへ移転</u> 	<ul style="list-style-type: none"> 東京国際空港 D 滑走路建設工事着手(東京空港) 東京国際空港国際線地区エプロン等整備事業 (PFI 事業) 工事着手 (東京空港) 東京国際空港東側旅客ターミナル南ピア供用開始 (東京空港) 東京国際空港沖合展開事業工事完成 (東京空港) 木更津南部地区岸壁(-12m)第2バース完成 (木更津港) 東京湾奥地区海域環境創造事業完成 (千葉港) 国際海上コンテナターミナル整備事業 Y2、複合一貫輸送ターミナル整備事業 X4, X5 が直轄事業として採択 (東京港) 第三海堡撤去完成 (東京湾口) 	86
2008 平成20	<ul style="list-style-type: none"> 港湾法改正 (航路指定区域拡大) (東京湾口) 茨城県北3港 (日立港・常陸那珂港・大洗港) 統合により茨城港誕生 	<ul style="list-style-type: none"> 東京湾口航路事務所 横須賀市新港町へ移転 	<ul style="list-style-type: none"> 木更津ふ頭H岸壁が完成し供用開始 (木更津港) 国際海上コンテナターミナル整備事業 Y2 工事着手 (東京港) 複合一貫輸送ターミナル整備事業 X4, X5 工事着手 (東京港) <u>東扇島地区基幹的防災拠点供用開始(川崎港)</u> 中ノ瀬航路浚渫完成 (東京湾口) 	87
2009 平成21			<ul style="list-style-type: none"> 本牧ふ頭地区岸壁(-16m)(耐震)改良 D-4 着手 (横浜港) 横浜港 南本牧～本牧ふ頭地区臨港道路整備事業着手 (横浜港) 中央ふ頭地区岸壁(-9.0m)供用開始 (茨城港常陸那珂港区) 	88
2010 平成22	<ul style="list-style-type: none"> 低潮線の保全及び拠点活動の整備等に関する法律施行 京浜港が国際コンテナ戦略港湾として選定 茨城空港(百里飛行場)開港 		<ul style="list-style-type: none"> 東防波堤延長 5,400m達成 (常陸那珂港) 東京国際空港 D 滑走路、国際線地区エプロン、旅客ターミナル、貨物ターミナル供用開始 (東京空港) 本牧ふ頭地区岸壁 (-13m) 改良 D-1 完成 (前面浚渫含む) (横浜港) 	89
2011 平成23	<ul style="list-style-type: none"> 東北地方太平洋沖地震(東日本大震災)発生 M9.0、最大震度7を観測 千葉港が特定重要港湾から国際拠点港湾へ名称改正 木更津港が国際バルク戦略港湾に選定 港湾法改正 (国有港湾施設の国による貸付) 	<ul style="list-style-type: none"> 南鳥島港湾施設整備事業工事で職員の現地常駐開始 	<ul style="list-style-type: none"> 葛南中央ふ頭岸壁(-12m)改良完成 (千葉港) 南鳥島港湾施設整備事業工事着手 (特定離島) 	90

年	社会情勢	関東地方整備局		設立
		組織	工事・関連事項	
2012 平成24	<ul style="list-style-type: none"> 中央自動車道笹子トンネルで天井版崩落事故発生 東京スカイツリー開業 		<ul style="list-style-type: none"> 船橋中央ふ頭南 E 岸壁 (-12m) の暫定供用開始 (千葉港) 東京港臨海道路 (Ⅱ期) 「東京ゲートブリッジ」供用開始 (東京港) 	91
2013 平成25			<ul style="list-style-type: none"> 外港公共ふ頭一部供用開始 (鹿島港) 複合一貫輸送ターミナル整備事業 X4 バース完成・供用開始 (東京港) 国際海上コンテナターミナル整備事業 Y3 が直轄事業として採択 (東京港) 沖ノ島島港湾施設整備事業工事着手 (特定離島) 沖ノ島島荷捌き施設設置完成 (特定離島) 	92
2014 平成26	<ul style="list-style-type: none"> 消費税 8% 改正 木更津港の港湾区域が変更 東京湾中央航路として名称変更及び指定区域拡大 御嶽山噴火 噴石により死傷者多数 平成 26 年 8 月豪雨 広島で大規模土砂災害 リニア中央新幹線着工 		<ul style="list-style-type: none"> 船橋中央ふ頭 E 岸壁 (-12m) が耐震強化岸壁として供用開始 (千葉港) 複合一貫輸送ターミナル整備事業 X5 バース供用開始 (東京港) 東京港臨港道路整備事業 (南北線) が直轄事業として採択 (東京港) 東京国際空港 C 滑走路延伸事業供用 (東京空港) 本牧ふ頭地区岸壁 (-16m) (耐震) 改良 D-4 完成 (泊地湊渚含む) (横浜港) 沖ノ島島港湾施設整備工事において重大事故発生 (特定離島) 	93
2015 平成27	<ul style="list-style-type: none"> 関東・東北豪雨 鬼怒川決壊 	<ul style="list-style-type: none"> 東京港湾事務所特定離島港湾課が「特定離島港湾事務所」へ組織再編 	<ul style="list-style-type: none"> 川崎港東扇島～水江町線臨港道路整備事業工事着手 (川崎港) 横浜港南本牧ふ頭 MC-3 コンテナターミナル完成 (横浜港) 	94
2016 平成28	<ul style="list-style-type: none"> 熊本地震発生 	<ul style="list-style-type: none"> 東京空港整備事務所 空港第 3 庁舎へ移転 	<ul style="list-style-type: none"> 中央ふ頭地区岸壁 (-12m) (耐震) 供用開始 (茨城港常陸那珂港区) 東京港臨港道路整備事業 (南北線) 工事着手 (東京港) 本牧地区国道 357 号東京湾岸道路・臨港道路 (本牧出口ランプ) 開通 (横浜港) 	95

年	社会情勢	関東地方整備局		設立	
		組織	工事・関連事項		
2017 平成29	<ul style="list-style-type: none"> 九州北部豪雨により大規模土砂災害発生 		<ul style="list-style-type: none"> 横浜港南本牧～本牧ふ頭地区臨港道路整備事業1期区間「はま道路」開通（横浜港） 「京浜港ドック」土木学会選奨土木遺産に認定 		96
2018 平成30	<ul style="list-style-type: none"> 北海道胆振東部地震発生 平成30年7月豪雨(西日本豪雨)により甚大な被害 台風21号影響により関西国際空港連絡橋にタンカー衝突 観測史上最高気温41.1℃を観測(熊谷市) 		<ul style="list-style-type: none"> 横浜港大黒ふ頭地区岸壁(-12m)(改良)P-4完成(横浜港) 「横浜港ハンマーヘッドクレーン」土木学会選奨土木遺産認定 常陸那珂港区中央ふ頭地区国際物流ターミナル(第2バース)着手(茨城港常陸那珂港区) 		97
2019 令和元	<ul style="list-style-type: none"> 新天皇即位、新元号は「令和」 消費税10%改正 台風15号 記録的暴風により首都圏に大きな影響(南本牧はま道路、福浦護岸等が被災) 台風19号 記録的な大雨・暴風・高潮(川崎港東扇島岸壁(-14m)KC-1等が被災) 首里城火災 ラグビーワールドカップ日本大会開催 		<ul style="list-style-type: none"> 東京港臨港道路整備事業(南北線)沈埋函設置完了(東京港) 横浜港南本牧はま道路緊急復旧工事着手(横浜港) 「鹿島港整備関連施設群」が土木学会選奨土木遺産認定 沖ノ島島棧橋設置完成(特定離島) 		98
2020 令和2	<ul style="list-style-type: none"> 新型コロナ感染拡大 緊急事態宣言 東京オリンピック・パラリンピックが令和3年に延期 		<ul style="list-style-type: none"> 鹿島港外港地区国際物流ターミナル岸壁(-12m)洋上風力着手(鹿島港) 千葉港千葉中央地区複合一貫輸送ターミナル岸壁(-9m)(改良)耐震D着手(千葉港) 東京港臨港道路整備事業(南北線)工事完成・供用開始『東京港海の森トンネル』(東京港) 横浜港本牧ふ頭地区岸壁(-16m)(耐震)BC-2着手 新本牧ふ頭地区岸壁(-18m)(耐震)、護岸(防波)着手(横浜港) 横浜港南本牧ふ頭 MC-4 コンテナターミナル完成(横浜港) 横浜港南本牧はま道路 緊急復旧工事完成(横浜港) 川崎港東扇島岸壁(-14m)KC-1 緊急復旧工事着手(川崎港) 		99

年	社会情勢	関東地方整備局		
		組織	工事・関連事項	設立
2021 令和3	<ul style="list-style-type: none"> 新型コロナウイルス感染症まん延防止等重点措置の新設 スエズ運河でコンテナ船が座礁 2030年の日本の温室効果ガス排出削減目標を引き上げ 東京2020オリンピック競技大会が開幕 令和3年7月 豪雨災害、伊豆山土砂災害の発生 デジタル庁発足 	<ul style="list-style-type: none"> 2021 関東地方整備局港湾空港関係組織 100周年 	<ul style="list-style-type: none"> 東京国際空港際内トンネル供用開始（東京空港） 国際海上コンテナターミナル整備事業 Y2 供用開始（東京港） 「横浜港新港埠頭関東大震災復興岸壁群」土木学会選奨土木遺産認定 横浜港南本牧地区MC1～4ターミナルが一体運営開始（横浜港） 茨城港常陸那珂港区岸壁(-12m)2バース目が暫定供用開始（茨城港） 横浜港南本牧コンテナターミナルでCOMPAS（搬出入予約機能）の常時運用開始（横浜港） カーボンニュートラルポート（CNP）形成に向けた取組開始（横浜港、川崎港、茨城港、鹿島港） 東京港中央防波堤外側地区Y3着手（東京港） 	100